

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

生誕百年
映画監督 亀井文夫

Fumio Kamei Retrospective at his Centenary

12月2日(火) - 12月27日(土)

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター
協力：川崎市市民ミュージアム

12月の休館日：

月曜日、12月28日(日) - 2009年1月5日(月)

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金=一般500円 / 高校・大学生・シニア300円 / 小・中学生100円 /

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



生誕百年

映画監督 亀井文夫



2008

12

NFCカレンダー
2008年12月号

大ホール 上映作品

生誕百年
映画監督 亀井文夫
Fumio Kamei
Retrospective at his Centenary

日本の文化・記録映画の歴史に大きな足跡を残した巨匠・亀井文夫(1908-1987)。留学先のソビエトで映画の可能性に目覚めた亀井は、レニングラード映画技術専門学校の聴講生になると、帰国後の1933年に写真化学研究所(P.C.L.,後に東宝映画)に入社、1935年に『姿なき姿』で監督デビューしました。その後、『支那事変後方記録 上海』(1938年)や『信濃風土記より 小林一茶』(1941年)などの作品で文化・記録映画を表現力豊かなジャンルに高め評価される一方、1939年には軍部の後援で監督した『戦ふ兵隊』の上映禁止、1941年には映画人としてはた一人、治安維持法違反容疑による検挙・投獄を経験することとなります。戦後も『日本の悲劇』(1946年)のGHQによる上映禁止処分に見舞われながら、独立プロを興して『基地の子たち』(1953年)や『生きてよかった』(1956年)などの問題作を発表、生涯にわたり戦争や核問題、差別、高度経済成長による社会の歪みを見つめ続けました。

亀井文夫の生誕100年を記念して開かれる本企画では、長篇劇映画や企業PR映画での仕事も交えながら、47本の作品(予告篇1本を含む)を23プログラムに構成して上映し、その足跡をたどります。

- 監=監督・演出 構=構成 原=原作・原案 脚=脚本 撮=撮影 美=美術 編=編集 録=録音 音=音楽 出=出演 解=解説・語り
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

I 12/2(水)3:00pm 12/14(日)1:00pm

姿なき姿(29分・35mm・白黒)

亀井の監督(編集)第1作。東京電燈の創立50周年記念作品として製作されたPR映画だが、亀井は雪深い上越国境に送電線を運ぶ労働の過酷さを強調するために、保線夫が雪崩の犠牲になるラストシーンを加え、「スポンサーと問題が起った」という。

'35(P.C.L.) 亀井文夫 深井史郎

支那事変後方記録 上海

(77分・35mm・白黒)

亀井が編集した『怒濤を蹴って』(1937年)の成功を受けて東宝文化映画部が企画した長篇記録映画三部作(『上海』『北京』『南京』)の第1作。日中戦争突入後の上海でロケーションを行った作品で、日本最初の現地同時録音による記録としても知られる。『瀧の白糸』(溝口健二監督)などで知られる名カメラマンの三木茂が、移動撮影やパノラマ撮影などを駆使して廢墟の街や激戦の跡をくつきり捉えている。

'38(東宝) 亀井文夫 三木茂(現地録音) 藤井慎一 金山欣二郎 飯田信夫 松井翠声

2 12/5(金)7:00pm 12/20(土)1:00pm

ハイキングの唄(23分・35mm・白黒)

亀井が『姿なき姿』の同年に脚本を担当した鉄道省製作の短篇映画。学生たちのハイキングの模様を、歌や音楽を交えて描きながら、自然豊かな富士五湖周辺の景観を紹介している。

'35(鉄道省=P.C.L.) 亀井文夫 松崎啓次 川口政一 山口淳 伊藤昇 里キー宮川、三條マサ子、美澤由紀子、喜多道子、瀧美君子、加藤欣子、樽澄江

北京(45分・16mm・白黒・不完全)

『上海』に続き、東宝文化映画部が占領下の北京にロケーションを敢行した長篇記録映画三部作の第2作。亀井は紫禁城、景山、天壇などを紹介しながら、三千年の伝統を持つ古都の文化とそこに住む人々の生活や表情に焦点を当てている。米国立公文書館(ワシントン)で発見され、山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーが1998年に複製したプリントを上映。巻頭を含め30分程度の欠落があると思われる。(プリント提供:特定非営利活動法人山形国際ドキュメンタリー映画祭)

'38(東宝) 亀井文夫 川口政一 藤井慎一 江文也 松井翠声

信濃風土記より 小林一茶(27分・35mm・白黒)

長野県の観光課の協力で企画された「信濃風土記」三部作の第2作。一茶を農村の詩人として扱い、彼の句を用いた効果的な編集によって、厳しい農民の生活史を描いている。亀井は本作の発表後、治安維持法違反被疑で検挙され1年近くの獄中生活を送った後、映画法により監督資格を剥奪されることになる。

'41(東宝) 亀井文夫 白井茂 酒井榮三 大木正夫 徳川夢声

3 12/2(水)7:00pm 12/27(土)4:00pm

富士の地質(11分・35mm・白黒・部分)

亀井のシナリオ「富士山」を秋元憲の監督で映画化。「金風無欠揺ぎなき」と「愛国行進曲」に謳われた霊峰・富士山に地質学的な分析を加え、変容を続ける老衰期の休火山であることを説いた作品で、当時の精神主義のなかで異色作になったと言われるが、現存するフィルムは後半が欠落している。

'41(東宝) 秋元憲 八木仁平 酒井榮三 深井史郎 徳川夢声

戦ふ兵隊(66分・35mm・白黒)

陸軍省の後援による漢口攻略作戦の従軍記録で、本作では三木茂(撮影)、瀬川順一(撮影助手)、藤井慎一(録音)とともに監督の亀井自身も戦地へ赴いて撮影が行われた。ナレーションを用いず、字幕を挿入するスタイルを採用。消耗した兵士たちや家を失った難民たちの姿を静かに見つめた描写が、軍部が期待する戦意昂揚とは相容れず上映不許可となった。

'39(東宝) 亀井文夫 三木茂(現地録音) 藤井慎一 金山欣二郎 古閑裕而

4 12/3(水)3:00pm 12/18(木)7:00pm

この一冬(4分・35mm・白黒・断片)

農商省の後援でつくられた作品。土地改良による食糧増産を主題としている。2004年度にロシアのゴスフィルムフォンドから里帰りしたプリントで、タイトルを含めわずかに4分のみが残されている。

'43(電通映画社) 亀井文夫 中川順夫 岡野薫

制空(75分・35mm・白黒)

中島飛行機の紹介映画で、亀井は原作者としてクレジットされている。同社の半田工場(愛知県)を舞台に徴用工と一般工の対立を描きつつ、戦意と生産意欲の向上を訴えた内容で、1945年8月の完成直後に終戦を迎えたため当時は陽の目を見なかったが、半田工場の製造部長であった藤森正巳氏のもとに保管されていたフィルムが1995年に寄贈された。

'45(電通映画社) 亀井文夫 中川順夫 國木田三郎 大條敬三 源佑介、宮西四郎、田中十三、渡辺令、千田勝男

5 12/3(水)7:00pm 12/21(日)1:00pm

日本の悲劇(39分・35mm・白黒)

満州事変から太平洋戦争までの歩みを戦時中のニュース映画の映像を編集してたどりながら、戦争責任を追及した亀井の戦後第1作。検閲を通過した後、吉田茂首相の働きかけでGHQが再検閲を行い上映許可が取り消された。

'46(日本映画社) 亀井文夫、吉見泰

基地の子たち(29分・16mm・白黒)

日本国内に点在する米軍基地が与える影響を子どもの視点から描く。亀井が劇映画から記録映画に戻って初めての作品で、本作でも劇映画の形式がとられている。山形(菊地)周がB班のカメラを担当し亀井と組んだ初めての作品でもある。亀井は本作完成後の1954年4月に日本ドキュメントフィルムを設立する。

'53(東京キノ・プロダクション) 亀井文夫、田中徹、富沢隆雄、神保春枝、山崎聖教 井上莞、牛山邦一、山形周、瀬川浩、坂川栄雄 片山幹男 原太郎

6 12/4(木)3:00pm 12/17(水)7:00pm

戦争と平和(100分・35mm・白黒)

第二次東宝争議を経て、組合代表の企画審議会への参加を制度化した労働協約から生まれた作品。亀井初の長篇劇映画で、山本薩夫との共同監督となった。夫の戦死公報を受け、その親友と再婚した妻のもとに、中国で捕虜として拾い上げた夫が帰還したことから三人を新たな悲劇が襲う。実写フィルム(『戦ふ兵隊』の一部)も使用されている。占領軍の検閲により30分以上が削除されたものの、『キネマ旬報』ベストテンでは第2位に選ばれた。

'47(東宝) 亀井文夫、山本薩夫 八住利雄 宮島義勇 河東安英 今泉善珠 空閑昌敏 飯田信夫 池部良、岸旗江、伊豆肇、菅井一郎、島田敬一、藤間房子、谷間小百合、田中筆子

7 12/4(木)7:00pm 12/23(火)1:00pm

女の一生(101分・16mm・白黒)

共稼ぎの印刷工女のめざめを通して、不合理な社会組織や因習的な家族制度を批判する。本作の製作中に第三次東宝争議が始まり、終結後の最初の作品として撮影が再開された。本作の完成後、亀井は東宝を離れ、独立プロの道を歩むことになる。

'49(東宝=藤本プロダクション) 亀井文夫 徳永直 水木洋子、八住利雄 宮島義勇 安倍輝明 長澤嘉樹 塚保友明 飯田信夫 岸旗江、沼崎勲、志村喬、三島雅夫、有木山太、田中榮三、毛利菊枝、千石規子

8 12/5(金)3:00pm 12/21(日)4:00pm

母なれば女なれば(100分・35mm・白黒)

第四次東宝争議の解決金を資本金にして生まれたキヌタプロダクションの第1回作品。徳永直が書き下ろした原作をもとに、子どもを抱えた「戦争未亡人」の再婚をめぐる新しいモラルが描かれる。スターの山田五十鈴が社会派の女優へと転じ、汚れ役にも積極的に挑んだ。

'52(キヌタプロダクション) 亀井文夫 徳永直 棚田吾郎 瀬川順一 平川透徹 飯田信夫 山田五十鈴、神田隆、岸旗江、二口信一、三島雅夫、北林谷栄、清水元

9 12/6(土)4:00pm 12/19(金)3:00pm

女ひとり大地を行く(146分・35mm・白黒)

キヌタプロと炭労北海道支部の共同製作による労働組合製作映画。北海道の炭坑で姿を消した夫の後を追ひ、自ら炭鉱夫として働くことになった女性の20年間の生活を描く。『母なれば女なれば』に続き起用された山田五十鈴が闘う婦人労働者を演じている。亀井は本作を最後に、再び記録映画の世界に戻るようになる。

'53(キヌタプロダクション=日本炭鉱労働組合北海道地方本部) 亀井文夫 新藤兼人、千明茂雄 仲沢半次郎 江口準次 長沢嘉樹 安惠重遠 飯田信夫 山田五十鈴、岸旗江、沼崎勲、宇野重吉、織本順吉、内藤武敏

10 12/6(土)1:00pm 12/16(火)3:00pm

世界にのびる金鳥(24分・35mm・カラー)

1961年につくられた大日本除虫菊のPR映画『緑の渦巻』の改訂版。蚊取線香の生産から販売までを描き、除虫菊の栽培から生産までのプロセス、世界各地へ輸出され使用されている様子などを紹介する。

'67(電通) 監督 亀井文夫 中村正徳 刈谷篤 小林賢 大野松雄 菊谷彰

生きてよかった(48分・16mm・白黒)

1955年8月に開かれた第1回原水爆禁止世界大会で、被爆者救援運動の一環として企画された作品。急性白血病やケロイドなどに苦しむ被爆者たちの過酷な生活の実態にカメラを向けている。取材時に録音した音声の後で画面に合成させる手法が用いられた。

'56(日本ドキュメントフィルム) 亀井文夫 黒田清巳、瀬川浩 仁保春緒、守随房子 奥山重之助、大橋鉄矢 長沢勝俊 山田美津子

11 12/7(日)1:00pm 12/16(火)7:00pm

荒海に生きる マグロ漁民の生懸

(33分・16mm・白黒)

水産業の重要性や漁村の人々の生活を知らせる目的でつくられた教材映画。高知県室戸岬の漁民に取材して、見習いでも乗り組んだ18歳の少年を中心に船内での生活やマグロ漁の実際を紹介しながら、2ヶ月におよぶ労働を記録している。

'58(日本ドキュメントフィルム) 亀井文夫 武井大、白田純一、菊池周、勅使河原宏 大橋鉄矢 長沢勝俊 宮田輝

12 12/7(日)4:00pm 12/24(水)3:00pm

流血の記録 砂川(54分・35mm・白黒)
アメリカ軍立川基地の飛行場拡張をめぐる闘争する砂川の住民を記録したシリーズの第3作。日本ドキュメンタリーフィルム第1回作品となった1955年9月闘争の記録『砂川の人々 基地反対闘争の記録』と、11月闘争の記録『砂川の人々 妻死なず』を編集して闘争の経過を紹介しながら、1956年の闘争を追う。
'57(日本ドキュメントフィルム)◎亀井文夫◎武井大、植松永吉、城所敏夫、勅使河原宏、大野忠◎奥山重之助、大橋鉄矢、大野松雄◎長沢勝俊◎寺島信子

12 12/7(日)4:00pm 12/24(水)3:00pm

世界は恐怖する 死の灰の正体 [予告篇] (2分・35mm・白黒)
世界は恐怖する 死の灰の正体 (79分・16mm・白黒)
亀井が『生きてよかった』の製作中から関心を寄せていた「死の灰」の恐怖を取り上げ、目に見えない放射能が生物に与える影響を科学映画の手法で明らかにした作品。「死の灰の恐怖は、人間が作り出したものであって、地震や台風のような天災とは、根本的に違います。だから人間がその気にささなければ、必ず解消できる筈の問題であることを、ここに附記します」というメッセージが添えられている。
'57(日本ドキュメントフィルム=三映社)◎亀井文夫◎菊地周、藤井良孝、白田純一、西堀美知江◎随房子◎大橋鉄矢、奥山重之助◎長沢勝俊◎徳川夢声

13 12/9(火)3:00pm 12/19(金)7:00pm

いのちの詩(39分・35mm・カラー)
日本生命の創業70周年を記念して製作された作品。恋愛、結婚、出産、育児といった場面を通して命の美しさや尊さを訴えた内容だが、大胆な配色をほどこしたセットなど、初のカラー作品への野心的な取り組みも注目される。
'59(電通)◎亀井文夫◎井手俊郎◎菊地周◎小林三郎◎河野秋礼◎大橋鉄矢◎長沢勝俊◎水谷貞雄、石田早苗

13 12/9(火)3:00pm 12/19(金)7:00pm

鳩ははばたく(42分・16mm・白黒)
第4回原水爆禁止世界大会と平和行進を記録した作品。团长ひとりて広島市の平和公園を出発した行進が、日比谷公園に到着するまでに100万人にふくらむ。
'58(日本ドキュメントフィルム)◎亀井文夫◎菊地周、清水浩、大野忠◎長沢勝俊◎宮田輝

14 12/9(火)7:00pm 12/18(木)3:00pm

女は下着で作られる(37分・35mm・白黒)
女性の下着を改良して新たな「下着文化」を創造、女性解放運動の文脈でも評価の高いデザイナーの鴨居羊子が監修・監督した作品。「ストリップの女王」ジブシー・ローズも出演。編集を亀井が担当している。
'58(日本ドキュメントフィルム=東宝芸能)◎鴨居羊子、千明茂雄◎佐藤正◎長野正親◎大橋鉄矢◎飯島一夫◎奈良あけみ、小浜奈々子、奈良香織、ジブシー・ローズ

14 12/9(火)7:00pm 12/18(木)3:00pm

モデルと写真家(27分・16mm・白黒)
1957年に第1回日本写真批評家協会新人賞を受賞した中村正也の撮影現場に取材。ライティングやアングル、背景の構成やモデルとのコミュニケーションによって、女性をより美しく表現していく様子が記録されている。編集を亀井が担当している。
'58(日本ドキュメントフィルム=東宝芸能)◎中村正也、小山内治夫◎瀬川川浩◎守随房子◎林ルミ、川崎美津子、吉村真理◎竹脇昌作

15 12/10(水)3:00pm 12/26(金)7:00pm

ヒロシマの声 [英語版] (40分・16mm・白黒)
第5回原水爆禁止世界大会の記録。日米安全保障条約の改定をめぐる激しい議論がたたかわれるが、大会の終了直後は原爆病院でまたひとり、17歳の少女が白血病で命を落とす(日本語字幕無し)。
'59(日本ドキュメントフィルム)

15 12/10(水)3:00pm 12/26(金)7:00pm

軍備なき世界を(41分・16mm・白黒)
第7回原水爆禁止世界大会の記録。「こうして第7回原水爆禁止世界大会は、平和と勇気と良心の一大岩となって、来るべき第8回大会へと再び前進を開始したのであります」という言葉で作品は結ばれるが、本作の後、原水爆禁止運動の分裂や中ソの対立を目の当たりにした亀井は、PR映画以外の映画製作から離れ、長らく沈黙の時代を迎えることになる。
'61(日本ドキュメントフィルム)

16 12/10(水)7:00pm 12/27(土)1:00pm

INVITATION TO JAPANESE ARCHITECTURE
『日本の建築』英語版(20分・35mm・カラー)
外務省による海外への日本紹介映画。東大寺や平等院、京都御所、東福寺などを取り上げて、屋根、柱、壁、庭の特徴を解説しながら、自然と深い関係を持つ日本の建築様式を紹介する(日本語字幕無し)。
'59(日映科学映画製作所)◎亀井文夫◎瀬川浩

17 12/11(木)3:00pm 12/20(土)4:00pm

人間みな兄弟(60分・16mm・白黒)
戦後、高度な発達を続ける文明の陰で根強く残る部落差別問題へと切り込んだ作品。亀井は、半年間にわたり52か所の部落で取材を行い、劣悪な生活環境や結婚差別、就職差別の実態を記録しながら、テレビで人工衛星の打ち上げに見入る子供たちの無垢な表情をこれらと対照させている。
'60(日本ドキュメントフィルム=芸術映画社=松本プロダクション)◎亀井文夫◎杉浦明平◎菊地周◎大橋鉄矢◎長沢勝俊◎宮田輝

17 12/11(木)3:00pm 12/20(土)4:00pm

風土病との闘い(27分・35mm・白黒)
奄美大島や四国に取材して、フィリアの症状や伝染のメカニズム、閉ざされた生活環境の中で風土病との共存を強いられながら労働にはげむ人々の姿を描いている。
'62(桜映画社)◎亀井文夫◎菊地周◎村山英治◎真鍋理一郎◎宇野重吉

17 12/11(木)3:00pm 12/20(土)4:00pm

静かな建築工法(32分・35mm・カラー)
竹中工務店のPR映画。都市部での工事に際して発生する騒音や振動を防ぐため開発された新しい工法を紹介する。
'62(電通)◎亀井文夫◎関口敏雄

18 12/11(木)7:00pm 12/17(水)3:00pm

MY DIARY IN JAPAN INVITATION TO SHIN MITSUBISHI
『僕の日本日記』英語版(26分・35mm・カラー)
三菱のPR映画。日本の重工業を支える企業を訪ねた外国の青年がその印象を語る(日本語字幕無し)。
'62(電通=ショウ・タグチ・プロダクション)◎亀井文夫◎玉川伊佐男

18 12/11(木)7:00pm 12/17(水)3:00pm

新しい小売店経営
—ある毛糸店の一日— (16分・16mm・カラー)
吉川株式会社のPR映画。毛糸織物メーカーが推奨する店頭ディスプレイや陳列のレイアウトなどを通して商品販売の方法を手引き。
'63(電通)◎亀井文夫、原功◎麻有喜子、千葉茂樹◎関口敏雄◎小松乙彦◎早川博◎高倉みゆき

18 12/11(木)7:00pm 12/17(水)3:00pm

虹をあみましよう(18分・16mm・カラー)
吉川株式会社のPR映画。毛糸販売店のショウ・ウィンドウに並ぶマネキン人形たちを主人公に、毛糸織物のファッションや着こなしの基礎知識を、ミュージカル仕立てで紹介する。
'63(電通)◎亀井文夫、原功◎麻有喜子、千葉茂樹◎関口敏雄◎小松乙彦◎早川博◎クール・チャッピー、圭チナ

18 12/11(木)7:00pm 12/17(水)3:00pm

魅惑のガラス(18分・16mm・カラー)
日本電気硝子のPR映画。真空管などの電気製品に使われる同社の製品や、建築資材として注目されるガラス・ブロックなどを紹介する。
'63(電通)◎亀井文夫◎浜田英夫

19 12/12(金)3:00pm 12/23(火)4:00pm

JAL空の旅シリーズ
香港・台北編 [改訂版] (23分・35mm・カラー)
日本航空のPR映画。海外旅行のモデルコースから、香港・台北めぐりを選び、様々な観光地や見どころを紹介している。
'65(日本ドキュメントフィルム)◎亀井文夫◎関口敏雄◎大橋鉄矢◎大野松雄◎渡辺紳一郎、杉山真太郎

19 12/12(金)3:00pm 12/23(火)4:00pm

JAL空の旅シリーズ
新・南十字星は招く (28分・35mm・カラー)
1963年につくられた『南十字星は招く』の改訂版。日本航空の海外旅行モデルコースから、東南アジアめぐりを紹介。マニラ、バンコク、クアラルンプール、ジャカルタなどの観光名所と見どころを紹介。
'68(日本ドキュメントフィルム)◎亀井文夫◎松田忠彦、菊地周◎大野松雄◎菊谷彰

19 12/12(金)3:00pm 12/23(火)4:00pm

遊び場のない子どもたち (37分・16mm・白黒)
高度経済成長の陰で大都市から子どもの遊び場が奪われている状況や、遊びの内容の変化、遊び場を守ろうとする地域活動などをオムニバス風に紹介しながら問題提起をした作品。監督の菊地周によれば編集を亀井文夫が行っている。
'65(桜映画社)◎菊地周◎村山正実◎大木正夫◎牟田悌三

20 12/12(金)7:00pm 12/25(木)3:00pm

JAL空の旅シリーズ
ヨーロッパ モデルコース (36分・35mm・カラー)
日本航空のPR映画。海外旅行のモデルコースから、ヨーロッパ各地の様々な観光名所を紹介したもので、1964年に海外旅行が広く自由化されたことによるブームを反映している。
'65(日本ドキュメントフィルム)◎亀井文夫◎関口敏雄◎大橋鉄矢◎大野松雄◎渡辺紳一郎、杉山真太郎

20 12/12(金)7:00pm 12/25(木)3:00pm

のり平 アメリカ紀行(41分・35mm・カラー)
俳優の三木のり平を主人公に、ハワイ、サンフランシスコ、ハリウッド、ラスヴェガス、シカゴ、ニューヨークなどをめぐりながら海外旅行の心得などを説いた日本航空のPR映画。
'65(日本ドキュメントフィルム)◎亀井文夫◎関口敏雄◎大橋鉄矢◎大野松雄◎渡辺紳一郎、杉山真太郎

20 12/12(金)7:00pm 12/25(木)3:00pm

のり平 トラベル・マナー (27分・35mm・カラー)
三木のり平のヨーロッパ旅行を追いながら、チェック・インや税関申告、機内食や外貨両替など海外旅行の心得とエチケットを紹介する。
'66(日本ドキュメントフィルム)◎亀井文夫◎倉益琢磨◎石倉昌子◎中尾駿一郎、松田忠彦◎大橋鉄矢◎大野松雄◎三木のり平、富田浩太郎

21 12/13(土)1:00pm 12/24(水)7:00pm

THE SHARP TOMORROW MAKERS
『今日の飲びと明日の夢を育てる』改訂版・英語版(28分・35mm・カラー)
シャープの創業から現代の最新設備、家電製品や独自技術までを紹介したPR映画。1967年につくられた同名作品の改訂版(日本語字幕無し)。
'68(電通)◎亀井文夫◎松田忠彦、田島信宜

21 12/13(土)1:00pm 12/24(水)7:00pm

未来を紡ぐもの
—トータ紡への招待— [改訂版] (25分・35mm・カラー)
羊毛繊維の素晴らしさを訴えたトータ紡のPR映画。1967年につくられた同名作品の改訂版。
'70(電通)◎亀井文夫◎中尾駿一郎◎大野松雄◎宮田輝

21 12/13(土)1:00pm 12/24(水)7:00pm

EXPO'70 in JAPAN 第二集 (10分・16mm・カラー)
小西六が8mm映写機の販売促進用デモ・フィルムとして採用した作品の一つ。第三集までつくられたうちの1本で、日本万国博覧会直前のパビリオンの様子が収められている。撮影時の16mmオリジナル・ネガから新たに起こしたプリントを上映する。
'70(日本ドキュメントフィルム)◎亀井文夫◎関口敏雄

22 12/13(土)4:00pm 12/25(木)7:00pm

**みんな生きなければならない
ヒト・ムシ・トリ“農事民俗館”**

(80分・16mm・カラー)

東京世田谷区で有機農業を営む農家の記録。菊地周が一旦完成させた作品の再構成を亀井に依頼し、亀井は当時構想中の現代文明批判、人間と生物の共存というテーマをもちこんだ。長らく活動の場をPR映画に限定していた亀井は本作で20年以上の沈黙をやぶり、次作『生物みなトモダチ』の製作に情熱を傾けることになる。

'84(東京写真工房)●亀井文夫●菊地周●久保田幸雄●福岡稔(ロスコーヤス)●浜島信子



戦ふ兵隊

23 12/14(日)4:00pm 12/26(金)3:00pm

生物みなトモダチ<教育編> トリ・ムシ・サカナの子守歌(166分・16mm・カラー)

「鳥になった人間(亀井文夫)のシネ・エッセイ」というタイトルを掲げ、現代文明の驕りを人間以外の生き物の視点で告発した亀井の遺作。『みんな生きなければならない』の第2部として製作され、20社を超える映画会社から映像素材が提供されたが、亀井は途中病に倒れながら編集作業を終え、作品の完成とともに他界した。

'87(生物みなトモダチ製作委員会)●亀井文夫●菊地周、奥村裕治ほか●甲藤勇ほか●今井重幸●小林恭治●加藤登紀子



生物みなトモダチ<教育編> トリ・ムシ・サカナの子守歌

展示室(7階)

[企画展]

生誕100年 川喜多かしこ展

Madame Kawakita, Her Life and Films

共催：川喜多記念映画文化財団

第2期：10月7日(土)～12月26日(金)

*月曜日は休室

[常設展]

展覧会 映画遺産

一東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより

The Japanese Film Heritage

— From the Non-film Collection of the National Film Center —

開室時間＝午前11時～午後6時30分

(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)＝一般200円(100円)／大学生・シニア70円(40円)／高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)は無料

* ()内は20名以上の団体料金です。
* 学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示下さい。

* フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

2008
12
大ホール

生誕百年 映画監督 亀井文夫

Fumio Kamei Retrospective at his Centenary

月	火	水	木	金	土	日
1	1 支那事変後方記録 上海他 (計106分) 3:00pm	4 制空 他 (計79分) 3:00pm	6 戦争と平和 (100分) 3:00pm	8 母なれば女なれば (100分) 3:00pm	10 生きていてよかった 他 (計72分) 1:00pm	11 流血の記録 砂川 他 (計87分) 1:00pm
	3 戦ふ兵隊 他 (計77分) 7:00pm	5 日本の悲劇 他 (計68分) 7:00pm	7 女の一生 (101分) 7:00pm	2 信濃風土記より 小林一茶 他 (計95分) 7:00pm	9 女ひとり大地を行く (146分) 4:00pm	12 世界は恐怖する 死の灰の正体 (計81分) 4:00pm
8	13 鳩ははばたく 他 (計81分) 3:00pm	15 ヒロシマの声 他 (計81分) 3:00pm	17 風土病との闘い 他 (計85分) 3:00pm	19 遊び場のない子どもたち 他 (計88分) 3:00pm	21 EXPO'70 in JAPAN 第二集 他 (計63分) 1:00pm	1 支那事変後方記録 上海 他 (計106分) 1:00pm
	14 女は下着で作られる 他 (計64分) 7:00pm	16 人間みな兄弟 他 (計80分) 7:00pm	18 新しい小売店経営 一ある毛糸店の一日 他 (計76分) 7:00pm	20 ヨーロッパ モデルコース 他 (計104分) 7:00pm	22 みんな生きなければならない ヒト・ムシ・トリ“農事民俗館” (80分) 4:00pm	23 生物みなトモダチ<教育編> トリ・ムシ・サカナの子守歌 (166分) 4:00pm
12月	10 生きていてよかった 他 (計72分) 3:00pm	18 新しい小売店経営 一ある毛糸店の一日 他 (計76分) 3:00pm	14 女は下着で作られる 他 (計64分) 3:00pm	9 女ひとり大地を行く (146分) 3:00pm	2 信濃風土記より 小林一茶 他 (計95分) 1:00pm	5 日本の悲劇 他 (計68分) 1:00pm
	11 流血の記録 砂川 他 (計87分) 7:00pm	6 戦争と平和 (100分) 7:00pm	4 制空 他 (計79分) 7:00pm	13 鳩ははばたく 他 (計81分) 7:00pm	17 風土病との闘い 他 (計85分) 4:00pm	8 母なれば女なれば (100分) 4:00pm
22	7 女の一生 (101分) 1:00pm	12 世界は恐怖する 死の灰の正体 (計81分) 3:00pm	20 ヨーロッパ モデルコース 他 (計104分) 3:00pm	23 生物みなトモダチ<教育編> トリ・ムシ・サカナの子守歌 (166分) 3:00pm	16 人間みな兄弟 他 (計80分) 1:00pm	休館
	19 遊び場のない子どもたち 他 (計88分) 4:00pm	21 EXPO'70 in JAPAN 第二集 他 (計63分) 7:00pm	22 みんな生きなければならない ヒト・ムシ・トリ“農事民俗館” (80分) 7:00pm	15 ヒロシマの声 他 (計81分) 7:00pm	3 戦ふ兵隊 他 (計77分) 4:00pm	

図書室カレンダー

赤字は休室日

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

図書室(4階)

開室＝火曜日～土曜日(午後0時30分～午後6時30分)／入室は午後6時まで 閉室＝休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニューズレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通：
東京外口銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ：ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ：

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ホームページ：

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

